

3月20日(月)

令和4年度北九州市環境首都検定 学校部門 環境未来賞 受賞!

5年生の北九州市環境首都検定へのチャレンジに対して、「学校部門 環境未来賞」が贈られました。

賞状はなんと、木にレーザー加工されています。低炭素化社会の実現を目指す「ていたん」とその相棒である「ブラックていたん」もレーザーで焼き付けられている特別な表彰状です。



学年主任のA先生も、賞状を手に、この笑顔!



優秀バッジ受賞

A君のコメント

「間違えた問題は繰り返し勉強して検定を受けました。覚えたことを生かして北九州市を環境の豊かな街にしたいです。」



優秀バッジ受賞のBさん

「バッジをもらってうれしいです。」

満点バッジ受賞のCさん

「環境首都検定の過去問題には、みんな、一生懸命取り組んでいた。一人で、団体に協力して、とても集中して1問1問解いていた。そこで私は、難しい分からない問題を放置せずに、自分が分かるまできちんと取り組むことの大切さを改めて実感した。」

3月22日(水)

4年生 プルタブ・古切手寄付



4年生全員でどこかへ校外学習に出かけているようです。学年末のこの時期に、いったいどこへ行くのでしょうか。



ここは、八幡東区社会福祉協議会の会議室。みんな緊張しています。式が始まるようです。



プルタブ&古切手寄付贈呈式と書いてあります。4年生が集めてきたものを渡すんですね。



プルタブ&古切手を半田会長様に受け取っていただきました。



なんと、半田会長様から感謝状の贈呈！



児童一人ひとりにも感謝状が贈られました



プルタブや古切手の活用方法を教えてもらいました。



温かな気持ちが広がりました。

3月23日(木)

今年度最後の給食

今日は、令和4年度最後の給食の日です。

職員室では、こんな会話がありました。

私「今年度最後の給食として、かなりしぶめの献立ですね。大人は大好きメニューだけど。」

A先生「和食大好きです。毎日これでもいいくらいです。」

私「たしかにおいしいですよ。ただ、小学生の気持ちとしてはどうでしょう。」

そこで、昼休みに5年生にリサーチしてみました。

私「今日の給食どうだった？」

Bさん「最高です。」(グッドのポーズ)

まわりの5年生がロ々に

「マジ最高!」「おいしかったです。」

「納豆大好きです。あれくらいがちょうどいい。」

「あーわかるう。」「それな。」「そうそう。」

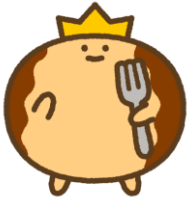
等とにこにこしながら言いました。そこで、私「でも昭和の小学生の感覚だと、最後の給食はなんかハンバーグとかさ、デザートがつくとか期待してしまってたなあ。」というと、

Cさん「ジャガイモのあれ、超おいしいから。」

Dさん「いやもう、ほんっとおいしいから。」

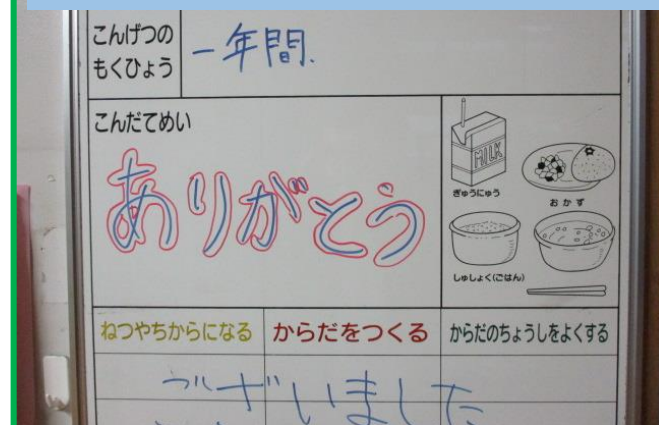
Bさん「令和は和食が一番。」

だそうです。確かに和食、最高ですよ。今日もおいしい給食をありがとうございました。



納豆のおいしさに写真を撮るのを忘れていたのじゃ。麦ごはんとの相性は抜群じゃな。

給食委員さんからのメッセージ



栄養ボードに感謝のメッセージが書かれていたモー。



3月24日(金)

令和4年度 修了式・離任式

今年度最後の日に、初めて、体育館にみんなで集まり、修了式をしました。そして7人の学年・学級の代表さんが修了証書をもらいました。卒業式に参加して6年生の様子を近くで見えていたので、5年生代表で修了証書を受け取るAさんは「さすが!」とほめたくなる堂々とした態度でした。他の学年・学級の代表者さんも、たった1回の練習とは思えないほど、立派でした。

みなさん、令和4年度よくがんばりましたね。創立三十周年記念式典もやりとげて、地域の方々からたくさんのお褒めの言葉をかけていただきました。できるようになったこと、これから頑張りたいことをおうちの人と話ながら、通知表(あゆみ)を読んでください。

また、修了式では、B先生から春休みのすごし方についてもお話がありました。

B先生が「『はるやすみ』のあいうえお作文です。」というとき、みんなは、「『は』は、はやねはやおき!」「『る』はルール!」と次々に発表しました。「や?」と一瞬シーンとなった後、B先生は、「『や』は、やっぱり勉強です!」と言ったので、他の先生やみんなは、「エー?!」「ああ。」「やっぱりって。」などと言いながら笑顔になりました。みんなで新学期を元気に迎えましょう。

はるやすみのすごしかた



©ていたん,北九州市

修了式の後、今年度で皿倉小学校を去る先生方とのお別れの式「離任式」がありました。

お別れをする16人の先生方がステージに並ぶと、2年生のCさんが「え、こんなに?」と驚いていました。お別れが悲しくて泣いている人もいます。

すると、教頭先生が言いました。

「お別れするということは、また新しい先生たちと出会えるということです。それはワクワクすると思いませんか。感謝の気持ちを込めて笑顔でさようならをしましょう。」

みんなその言葉を聞いてうなずいていましたね。

お別れはさみしいけれど、令和5年度に出会う新しい先生方と、元気いっぱいにお過ごしくださいね。